

## 重要文化財 建造物

# 大阪市立愛珠幼稚園園舎

## 4月20日(土) 一般公開

重要文化財建造物の指定を国から受けている「大阪市立愛珠幼稚園」を広く市民の方々に知っていただくため、園舎の一般公開を行います。(参加無料)

愛珠幼稚園は、明治34年に建設されてから、現在も大阪市立幼稚園として運営されており、日常的な公開はできません。ぜひ、この機会にお越しください。

日 時 平成25年4月20日(土) 午後1時～午後4時

入場は午後3時30分まで

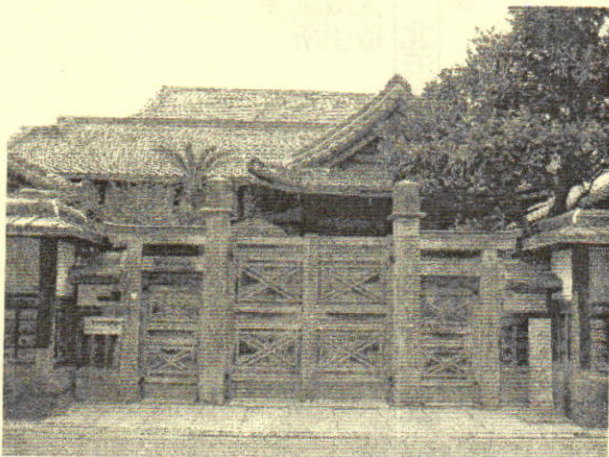
場 所 大阪市立愛珠幼稚園(大阪市中央区今橋3丁目1-11) 裏面地図参照  
地下鉄御堂筋線・京阪電車『淀屋橋』駅から南東100m

解 説 おおむね30分ごとに1回10～15分間

学芸員による建造物の解説の後5分程度、ドイツのピアノ工房

イルムラー社製の貴重なグランドピアノの演奏をお聴きいただきます。

事前申込は不要です。当日直接会場へお越しください。多くの方が一度には入場できませんので、入場整理を行う場合があります。(建物内撮影禁止)



問合せ先 大阪市教育委員会事務局 TEL 06-6208-9030

文化財保護担当 FAX 06-6201-5759

問合せ可能時間 月～金(土日祝を除く)午前9時～午後5時30分

## 愛珠幼稚園 (あいしゅようちえん) 園舎概要

大阪市立愛珠幼稚園の創立は、明治13年(1880)、創設者は、船場北部(現中央区平野町以北)の連合町会です。現在の園舎は、当時の主席保母であった伏見柳らの原案をもとに設計がなされ、明治34年(1901)現在地に竣工しました。

全体の構造は、敷地のまわりに瓦葺きの高塀を巡らせ、南正面には塀重門という格式の高い形式の門を置き、その北側には遊戯室の大空間を覆う大屋根が続き、格調高い外観です。

内部の構成は、保母さんの基本設計ならではの特徴が随所にみられます。遊戯室は周囲の壁面の上部に窓をめぐらせ、採光と通風を良くしています。園庭には土を盛り、廊下と同じ高さにし、出入りの際に園児がケガをしないように配慮されています。便所は保育棟の中にありますが、屋根の間に間隔をあげ、換気ができるような設計となっています。

通常の学校建築ではみられない御殿風といわれる建築は極めて質の高いものであり、その堂々たる姿は、創設者である船場の人々の子弟教育にかける心意気を伝えるものとして、高い価値を有します。

